

2026年3月30日

関係各位

フェリング・ファーマ株式会社
日本化薬株式会社
(コード番号 4272 : 東証プライム)

膀胱がん治療薬ナドファラゲン フィラデノベクの 日本国内におけるコ・プロモーション契約締結に関するお知らせ

フェリング・ファーマ株式会社（東京都港区、代表取締役社長 CEO：ジョン・プルバー、以下、「フェリング・ファーマ」）と日本化薬株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：川村茂之、以下、「日本化薬」）は、膀胱がん治療薬ナドファラゲン フィラデノベク（以下、「本剤」）の日本国内におけるコ・プロモーション契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本提携により、本剤の製造販売承認の取得後に両社共同でプロモーション活動を行い、膀胱がん患者様の治療選択肢の拡大を目指します。また、本剤の販売はフェリング・ファーマが担当いたします。本剤は、BCG 治療が奏効しない筋層非浸潤性膀胱がん（NMIBC）患者様に対し、膀胱内投与によって持続的インターフェロン発現を誘導する、非複製型アデノウイルスベクターによる遺伝子治療製品です。本剤は2025年8月27日に製造販売承認申請が行われています。

フェリング・ファーマの泌尿器がん領域における豊富な知見と、日本化薬が長年提供してきた筋層非浸潤性膀胱がんの標準治療薬「イムノブラダー®膀胱用」のプロモーションを通して得られた知見を相乗的に活かし、医療従事者への情報提供拡充と膀胱がん患者様の治療向上に向けた新たな貢献を目指します。

フェリング・ファーマ株式会社 代表取締役社長 CEO ジョン・プルバーは次の通りコメントしています。「これまで筋層非浸潤性膀胱がんの標準治療薬のプロモーションを通して豊富な知見をもつ日本化薬株式会社と、今回新たに提携が実現したことを大変うれしく思います。長年新たな治療法を求めていらっしやった筋層非浸潤性膀胱がん患者様や医療関係者の皆さまに、より一層貢献できるよう日本化薬株式会社とともに取り組んでまいります。」

日本化薬株式会社 代表取締役専務執行役員 島田博史 は次の通りコメントしています。

「この度、フェリング・ファーマ株式会社とともに、本剤のプロモーションにおいて協業できることを大変光栄に思います。本剤は遺伝子治療薬として新たな治療選択肢を提供するものであり、長年にわたり蓄積した膀胱がん治療領域での経験、実績を活かし本剤の価値を一人でも多くの患者様にお届けできるよう努めてまいります。」

両社は今後も、医療関係者の皆様と患者様に寄り添いながら、膀胱がん治療の質向上に向けた取り組みを継続してまいります。

筋層非浸潤性膀胱がん (NMIBC)について

NMIBC（筋層非浸潤性膀胱がん）は、膀胱の表層に影響を及ぼすもので、深部への浸潤や転移は伴いません。膀胱がんは、日本で13番目に多く診断されているがんであり、世界では9番目に多く、2022年にはそのうちの75%がNMIBCとして発症していますⁱ。膀胱内BCG療法は依然として高リスクNMIBCに対する第一選択の標準治療とされていますが、患者の50%以上が1年以内に再発や進行を経験し、多くがBCGに反応しない疾患へと移行し、根治的な介入が必要となります。BCG非応答性患者に対する現在の治療選択肢は非常に限られており、日本泌尿器科学会（JUA）のガイドラインでは、根治的膀胱全摘除術または臨床試験への参加のみが推奨されていますⁱⁱ。

▽フェリング・グローバル（以下「フェリング」）について

フェリングは、人々が家族を築き、より良い生活を送れるようになることを目標に掲げる、株式非公開の研究主導型スペシャリティファーマです。フェリングは生殖医療領域のリーダーであり、消化器領域および泌尿器領域において力強い存在感を示してきました。さらに泌尿器がん領域の先端技術の最前線にいます。フェリングは、1950年設立であり、スイスのサンブレに本社を置き、世界100カ国以上で製品を販売し、約7,500名の従業員を擁しています。

▽フェリング・ファーマ株式会社について

フェリング・ファーマ株式会社はフェリングの子会社として2001年2月に設立され、本社は東京都港区です。フェリング・ファーマ株式会社 ホームページ <https://www.ferring.co.jp/>

フェリング・ファーマ株式会社は以下の患者様向け疾患啓発サイトを運営しています。

【膀胱がん.jp】 <https://boukougan.jp/>



▽日本化薬株式会社について

日本化薬株式会社は、1916年の設立以来、100年以上にわたり社会のニーズに応える製品を提供してきた化学・医薬品メーカーです。ニッチながらも突出した基盤技術を融合・進化させながら、社会に必要とされる製品・技術・サービスを提供し続けています。

日本化薬グループとしてグローバルに営業・生産拠点を展開し、自動車安全部品などを提供する「モビリティ&イメージング」、染料やインクジェット色素・インクなどを提供する「ファインケミカルズ」、がん関連の医療用医薬品などを提供する「ライフサイエンス」の3事業領域の体制で、社会課題の解決に貢献し、未来を豊かにする価値の創造を目指しています。

当社のニュースリリースは、報道関係者への情報提供を目的としています。医療用医薬品や開発品に関する情報を含む場合がありますが、これらはプロモーション、広告、医療上のアドバイスを目的としたものではありません。

<本件に関するお問い合わせ>

▽問い合わせ先;

フェリング・ファーマ株式会社 パブリックアフェアーズ&コミュニケーションズ キーアカウントマネジメント部 柳場 義豊 03-5544-9237, yoshimitsu.yanagiba@ferring.com

日本化薬株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-6731-5237

ⁱ World Bladder Cancer Patient Coalition. [GLOBOCAN 2022: Bladder cancer 9th most common worldwide - World Bladder Cancer Patient Coalition](#).

ⁱⁱ Japanese Urological Association. Bladder Cancer Clinical Practice Guidelines 2019 Edition. Medical Book Publishing Co., Ltd., 2019.

(最終閲覧日：全て 2026 年 3 月 24 日)